

医療事故情報収集等事業 第34回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成25年4月～6月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成25年			合計
		4月	5月	6月	
報告義務	報告件数	216	200	245	661
対象医療機関	報告医療機関数	162			
参加登録	報告件数	42	24	21	87
申請医療機関	報告医療機関数	21			
報告義務対象医療機関数		275	275	273	-
参加登録申請医療機関数		674	677	680	-

第34回報告書 51～54 頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成25年4月～6月	
	件数	%
薬剤	56	8.5
輸血	2	0.3
治療・処置	170	25.7
医療機器等	14	2.1
ドレーン、チューブ	41	6.2
検査	35	5.3
療養上の世話	239	36.2
その他	104	15.7
合計	661	100.0

第34回報告書 60 頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成25年4月～6月に発生した事例)

1) 参加医療機関数 1,118 (事例情報報告医療機関数 610 施設を含む)

2) 報告件数 (第34回報告書 76～82 頁参照)

①発生件数情報報告件数：99,237 件 (報告医療機関数 245 施設)

②事例情報報告件数：6,981 件 (報告医療機関数 73 施設)

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- (1) 血液浄化療法 (血液透析、血液透析濾過、血漿交換等) の医療機器に関連した医療事故 【第34回報告書 104～134 頁参照】
- (2) 血液凝固阻止剤、抗血小板剤投与下 (開始、継続、中止、再開等) での観血的医療行為に関連した医療事故 【第34回報告書 135～163 頁参照】
- (3) リツキシマブ製剤投与後のB型肝炎再活性化に関連した事例 【第34回報告書 164～173 頁参照】
- (4) 胸腔穿刺や胸腔ドレーン挿入時に左右を取り違えた事例 【第34回報告書 174～187 頁参照】

3. 再発・類似事例の発生状況 (第34回報告書 188～210 頁参照)

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- (1) 「誤った患者への輸血」 (医療安全情報 No. 11) 【第34回報告書 191～200 頁参照】
- (2) 共有すべき医療事故情報「ベッドからベッドへの患者移動 (第13回報告書) 【第34回報告書 201～210 頁参照】
に関連した医療事故」

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。